



ポテチの袋の話、よく気づきました。

上空の方が空気が冷たいという話はよく聞きます。よくポテチチップスの袋を4頂に持っていくとふくらむという話を聞きますが、あれも気圧が下がって、気圧の話がありました。軽井沢でコンビニで売っているとほとんどのポテチチップス等袋に入れた商品はパンパンにふくらんでいて並べられる数が少なく面倒です。

「エコだ！」と気づくということは、その学生の「エコに対する思い」が強かたんだな、と思いました。でもそれがもうエアコンの仕組みだったとは、ちょっと恥ずかしいですね。(笑)

講義では面白く話してしまいました。しかし、その想像力は素晴らしいです。前のページにも書いたように、結果が何を意味するか、考える習慣はいい習慣

なぜ上空の空気が冷たいのに落ちないか？  
そう考えたときにやっぱり考えが浅かったことが分かります。

よく気づきました。私は

炭酸のペットボトルあけると、もわーっと白くするのは雲だ、たいていすね。

ビールで観察しています。

気圧も同じにおと高い所の空気が冷たいという話は、お風

その通りですね。

別の水を取っておいたときの温度の関係と一緒に考えますか？

これ全く別の話題です。

地下から掘り出しているのは、気圧が関係しているんですか？

そもそも気圧なら、高い

それとも、ただ日光があたっていないから、掘り出さなければいけません。と温度が高くなるのですから。

と温度が高くなるのですから。

#### 4. エントロピー

エントロピー増大の法則で、エントロピーは絶対に減少しないと聞いたことがありません(部屋を片付けても自分が汚さないと結局+)

より正確には、エネルギーも物質もやり取りがないような状態では、エントロピーは必ず増大します。

ただ、熱を捨てることで自分自身のエントロピーを下げることもできます。生命が乱雑にならないのは、そうした仕組みです。

生命が乱雑にならないのは、そうした仕組みです。

エントロピーの科学はすごく興味があります!! 物質的にはどうかもしれない、これはもしかしたら人間の中(深層心理や、行動科学とかにも)でも考えうることもかもしれないと思いました。

エントロピーはリベラルアーツ的な話題だと私も思っています。

「エントロピー」という単語を久しぶりに聞きました。梅美林を受験した際読んだ本(『物理学者ゴッティと闘う』)に熱力学の話や以前でできた永久機関の話も出てきて、「案外物理学に触れているんだなあ」と感じました。

そういう意味で、LAの入試にエントロピーが出るのはいいと思います。むしろ、高校までの物理が古い感じですが。

エントロピーは学生に例えるかわかりやなくてすね。

私は中学校の時に、

注意したわけは「いつまでも私語をしている学生」のものですね。

「朝は人に起こされずに自分で起きろ」と教えられました。何事も自分で自分の行動を決めたいものです。

彼らが自発的に静かにしようと思えば実行することは可能ですね。

しかし、このたとえが本当だとしたら、エントロピーを下げるのは、私の責任だと思います。

しかし、このたとえが本当だとしたら、エントロピーを下げるのは、私の責任だと思います。